

2021年3月期 第3四半期決算説明資料

SMBC日興証券株式会社

2021年1月27日

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

 SMBC日興証券



2021年3月期 第3四半期決算サマリー	2	四半期損益推移 (連結)	16
業績の四半期推移	3	四半期損益推移 (SMBC日興証券)	17
純営業収益	4	四半期損益推移 (内部管理ベース)	18
受入手数料	5	営業指標-1	19
トレーディング損益 (金融収支調整後)	6	営業指標-2	20
販売費・一般管理費	7	営業指標-3	21
連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況	8	三井住友銀行との連携について	22
リーゲテーブル	9	銀証合算のリテール運用資産残高について	23
預り資産残高・資産導入額	10		
海外拠点収支 (内部管理ベース)	11		
【ご参考】内部管理ベース (SMBC日興証券単体+海外拠点)	12		
海外ネットワーク	13		
トピックス	14		

・本資料は、当社の業績等に関する情報の提供を目的として、2021年1月27日現在のデータに基づいて作成しております。また、本資料には資料作成時点の当社の見解を記載しており、当社は、その正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。

※ 連結決算を開示しております。特段の記載のないものは連結の業績を記載しております。

2021年3月期 第3四半期決算サマリー

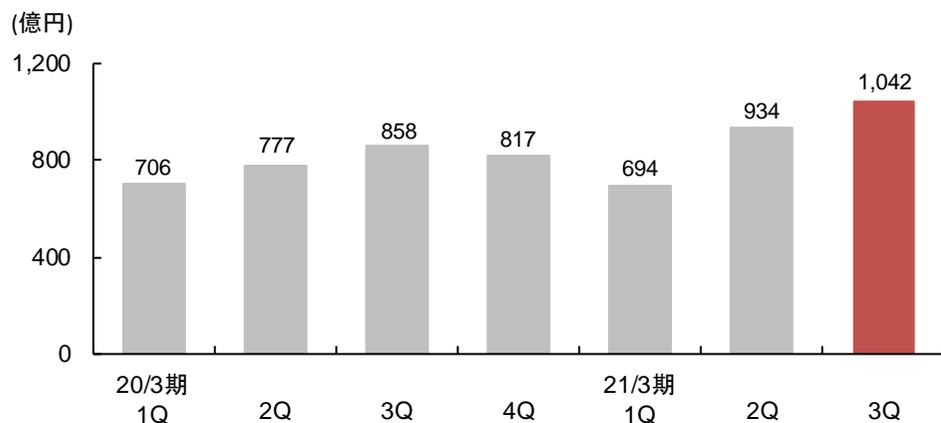
2021年3月期 第3四半期	<ul style="list-style-type: none"> ■ 純営業収益 1,042億円(前四半期比+12%) 経常利益 327億円(同+15%) 当期純利益(*) 272億円(同+26%) 日米の株式市場で株高が進行するなどマーケット環境が良好であったことにより、投信募集、日米株取引が堅調に推移。株式引受、債券引受において大型案件に関与。また、お客様へのポートフォリオ提案も継続 ■ 販売費・一般管理費 720億円(同+6%)
2021年3月期 第3四半期 累計	<ul style="list-style-type: none"> ■ 純営業収益 2,671億円(前年同期比+14%) 経常利益 686億円(同+87%) 当期純利益(*) 555億円(同 2.0倍) 日米株高などマーケット環境が改善業績に連動する費用の増加があったものの、期を通じて抑制的なコスト運営により販売費・一般管理費は同水準 ■ 販売費・一般管理費 2,025億円(同+1%)
財政状態	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2020年12月末の総資産11.5兆円、純資産8,916億円 ■ 自己資本規制比率(SMBC日興証券単体)は299%と安定した財務基盤を維持

経営成績 (単位:億円)	21/3期		前四半期比 増減率	20/3期 3Q累計	21/3期 3Q累計	前年同期比 増減率
	2Q	3Q				
営業収益	1,099	1,307	+19%	2,980	3,364	+13%
純営業収益	934	1,042	+12%	2,343	2,671	+14%
販売費・一般管理費	680	720	+6%	2,013	2,025	+1%
経常利益	283	327	+15%	366	686	+87%
税金等調整前当期純利益	284	401	+41%	373	778	2.1倍
当期純利益(*)	217	272	+26%	276	555	2.0倍
財政状態	2020年 3月末	2020年 12月末	前期末比 増減額	2019年 12月末	2020年 12月末	前年同期末比 増減額
総資産	12.2兆円	11.5兆円	-0.6兆円	11.5兆円	11.5兆円	+0.0兆円
純資産	8,514億円	8,916億円	+401億円	8,491億円	8,916億円	+425億円

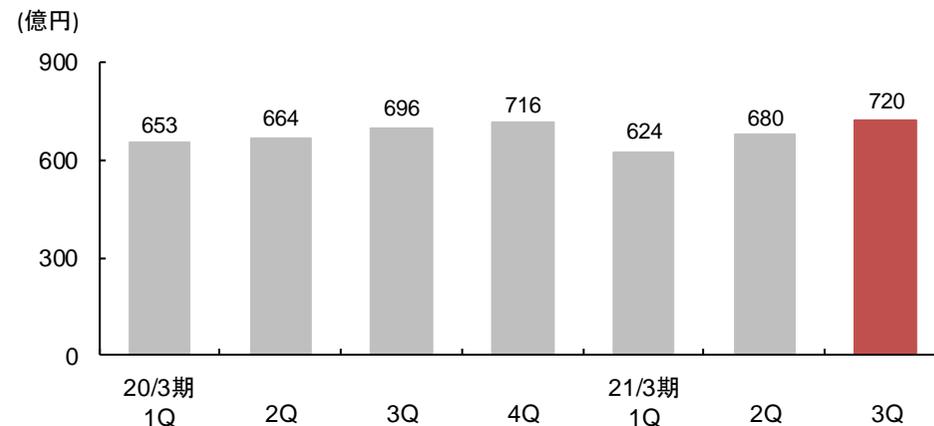
(*) 当社株主に帰属する当期純利益

業績の四半期推移

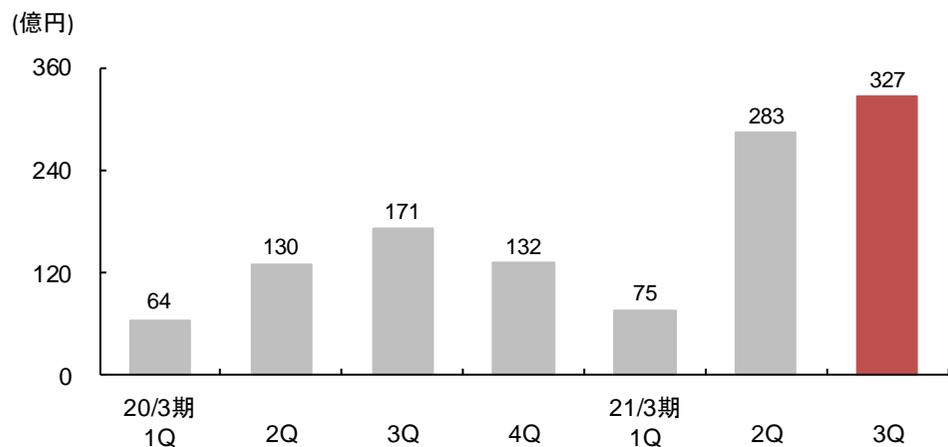
純営業収益



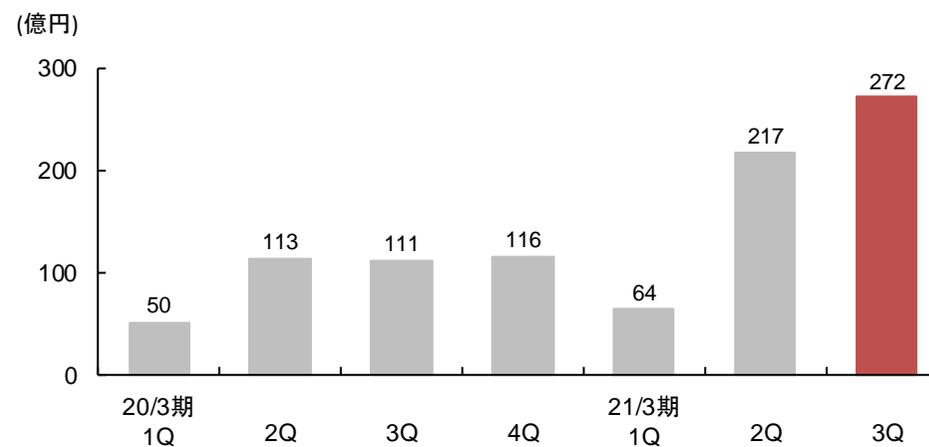
販売費・一般管理費



経常利益

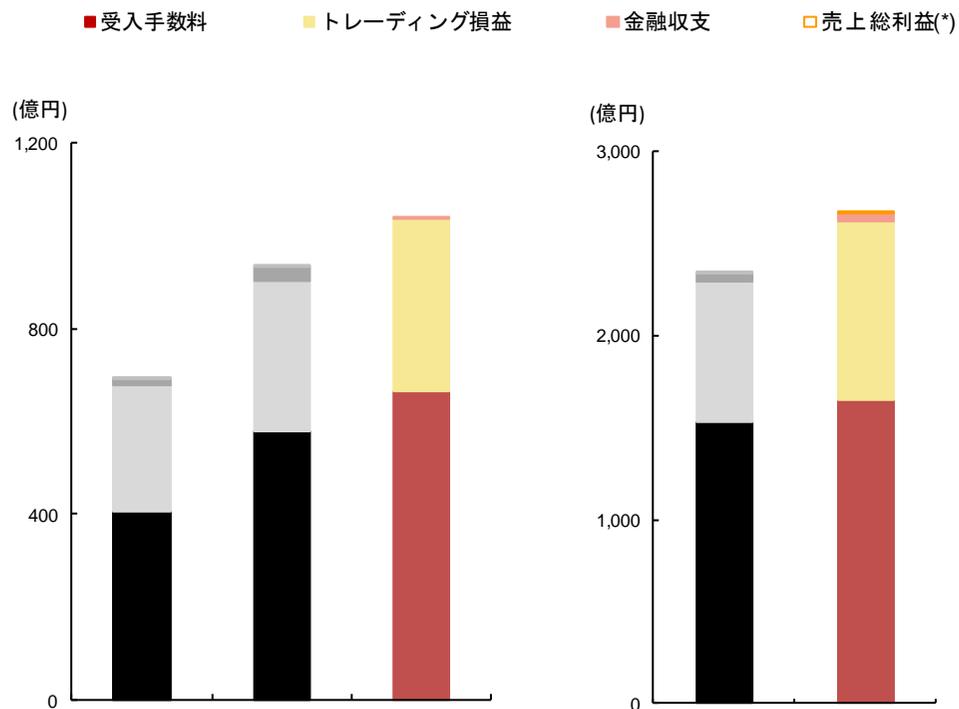


当期純利益(*)



(*) 当社株主に帰属する当期純利益

純営業収益



	21/3期 1Q	2Q	3Q	前四半期比
受入手数料	406	576	665	+16%
トレーディング損益	273	327	370	+13%
金融収支	12	29	4	-83%
売上総利益(*)	1	1	0	-29%
合計	694	934	1,042	+12%

	20/3期 3Q累計	21/3期 3Q累計	前年同期比
受入手数料	1,530	1,648	+8%
トレーディング損益	767	972	+27%
金融収支	38	46	+21%
売上総利益(*)	6	3	-48%
合計	2,343	2,671	+14%

前四半期比

受入手数料、トレーディング損益の増加により、純営業収益全体で増収

- ◇ 受入手数料 (前四半期比+89億円、+16%)
- ◇ トレーディング損益 (前四半期比+43億円、+13%)
- ◇ 金融収支 (前四半期比-25億円、-83%)

前年同期比

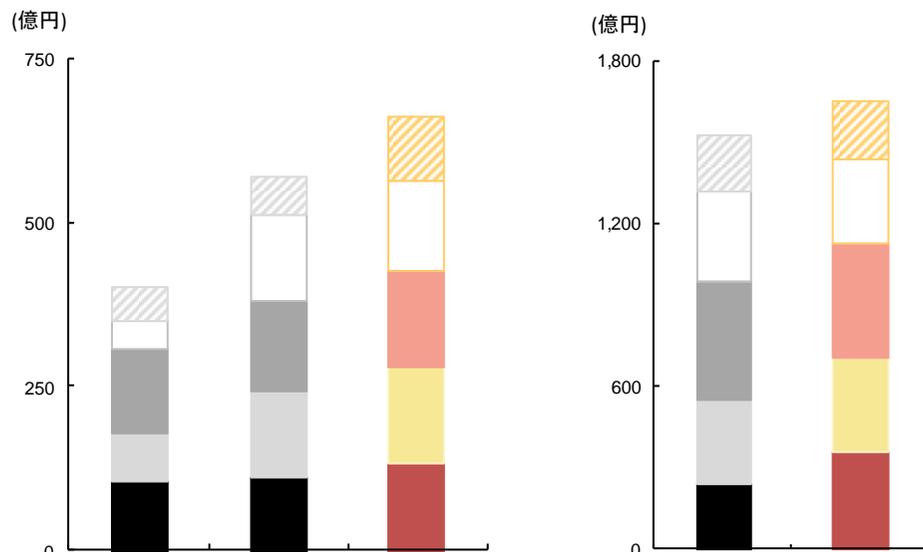
前年同期との比較においても受入手数料やトレーディング損益の増加により、純営業収益全体で増収

- ◇ 受入手数料 (前年同期比+118億円、+8%)
- ◇ トレーディング損益 (前年同期比+205億円、+27%)
- ◇ 金融収支 (前年同期比+8億円、+21%)

(*) 売上高-売上原価

受入手数料

■ 株式委託手数料 ■ 投信募集手数料 ■ FW手数料・代行手数料 □ 引受手数料 ■ 受手その他



前四半期比

- ◇ 株式委託手数料 (前四半期比+19億円、+17%)
- ◇ 投信募集手数料 (前四半期比+16億円、+12%)
日米株高による良好なマーケット環境より、株式取引、投信販売が堅調に推移
- ◇ 引受手数料 (前四半期比+9億円、+7%)
株式、債券ともに大型案件に関与。引き続き資金調達ニーズが高く活況
- ◇ 受手その他 (前四半期比+37億円、+62%)
M&Aによる収益が増加

前年同期比

- ◇ 株式委託手数料 (前年同期比+109億円、+45%)
- ◇ 投信募集手数料 (前年同期比+46億円、+15%)
マーケット環境の改善により取引が増加
- ◇ 引受手数料 (前年同期比-16億円、-5%)
期初は新型コロナウイルス感染拡大を受け低調なスタートだったものの、資金調達ニーズの高まりもあり回復傾向

(単位: 億円)

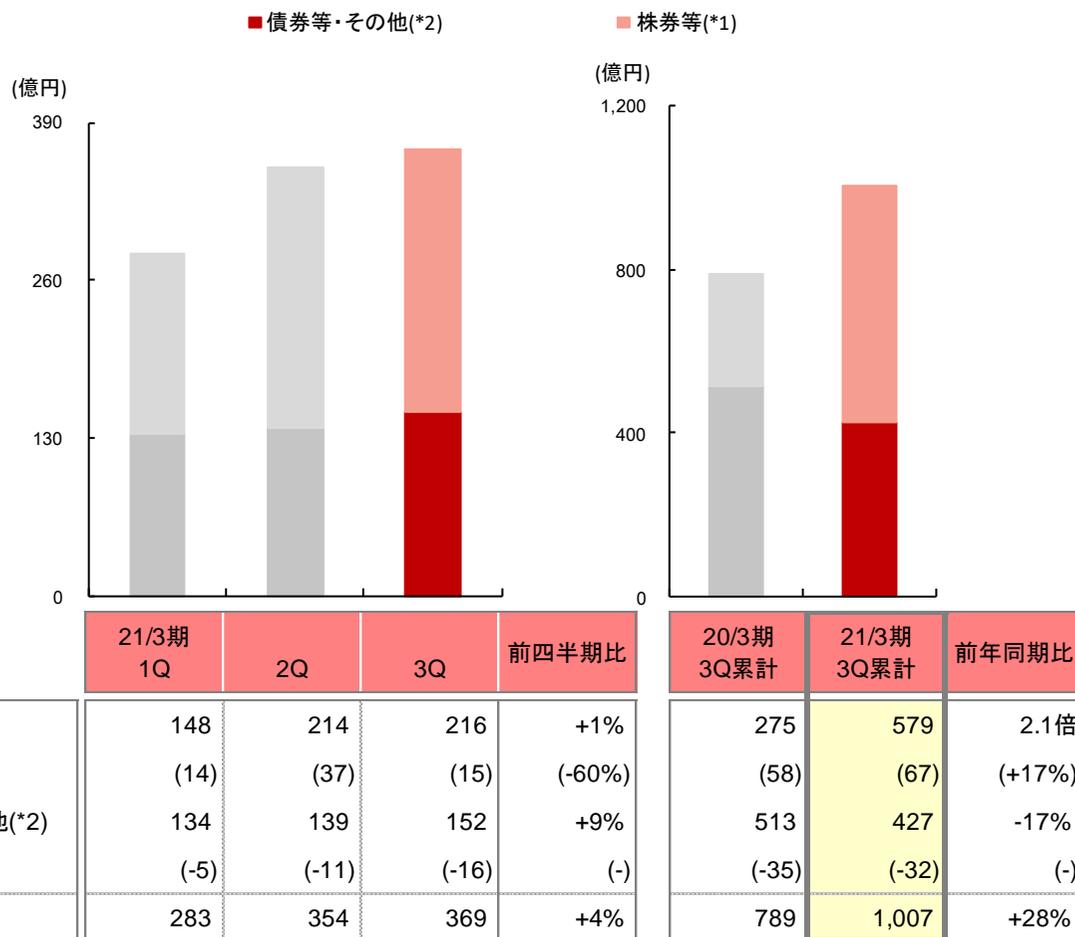
	21/3期 1Q	2Q	3Q	前四半期比	20/3期 3Q累計	21/3期 3Q累計	前年同期比
株式委託手数料	108	113	132	+17%	245	354	+45%
投信募集手数料	74	131	147	+12%	307	353	+15%
FW手数料・代行手数料	127	139	147	+5%	435	414	-5%
引受手数料	43	131	140	+7%	331	315	-5%
受手その他	52	60	97	+62%	209	210	+0%
合計	406	576	665	+16%	1,530	1,648	+8%
株式委託売買代金 (*1)	102,303	96,158	117,002	+22%	264,545	315,463	+19%
東証シェア (%)	2.54%	2.54%	2.74%	+0.21pt	2.56%	2.61%	+0.04pt
個人委託シェア (%) (*2)	4.60%	5.25%	4.79%	-0.46pt	5.05%	4.87%	-0.18pt
投信販売額 (*3)	2,577	4,867	5,481	+13%	10,553	12,925	+22%
投信残高	100,625	103,859	108,983	+5%	108,628	108,983	+0%
FW残高	20,123	20,651	21,487	+4%	21,400	21,487	+0%

(*1) 集計対象は全市場

(*2) 集計対象は東証・名証の一部・二等等

(*3) ノーロード投信除く

トレーディング損益 (金融収支調整後)



前四半期比

- ◇ 株券等 (前四半期比+2億円、+1%)
外国株式店頭取引は引き続き同水準
- ◇ 債券等・その他 (前四半期比+13億円、+9%)
お客さまフローが低調な状態が継続

前年同期比

- ◇ 株券等 (前年同期比+304億円、2.1倍)
拡大基調にある外国株式店頭取引が大幅増加
- ◇ 債券等・その他 (前年同期比-86億円、-17%)
国内、海外とも総じて金利が低下し、お客さまフローが減少

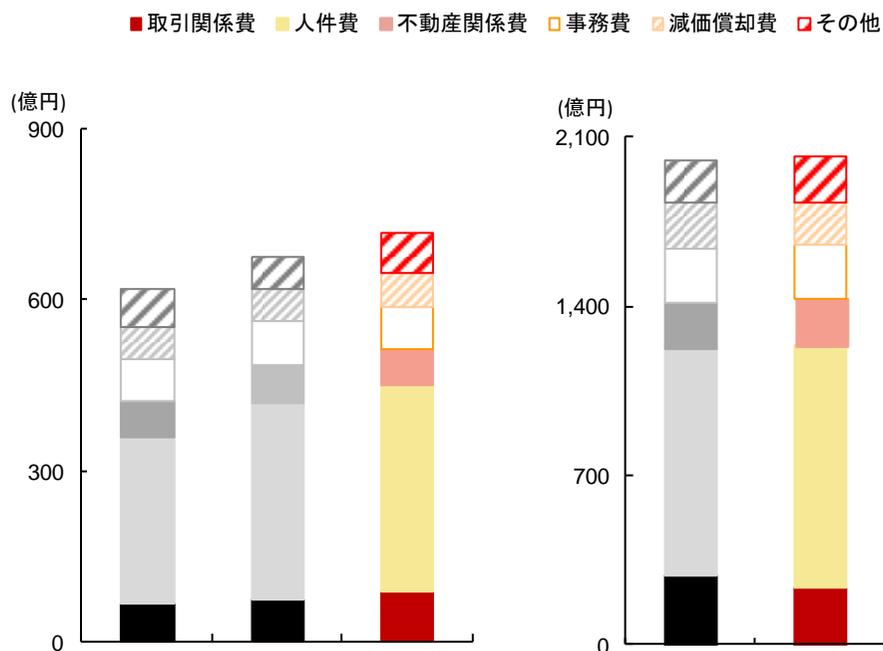
・ 配当落ち等の影響を補完したトレーディング損益(金融収支調整後)を表示

(*1) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる配当等(純額)を集計範囲に含む(一部レンディングによる配当含む)

(*2) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる債券利子(純額)を集計範囲に含む

(*3) ファンディングコストは集計範囲に含まない

販売費・一般管理費



(単位: 億円)

	21/3期 1Q	2Q	3Q	前四半期比	20/3期 3Q累計	21/3期 3Q累計	前年同期比
取引関係費	68	75	89	+18%	288	233	-19%
人件費	294	347	362	+4%	935	1,004	+7%
不動産関係費	63	65	63	-3%	196	193	-2%
事務費	73	76	75	-0%	223	225	+1%
減価償却費	57	58	58	+1%	192	174	-10%
その他	66	56	70	+23%	176	193	+10%
販売費・一般管理費	624	680	720	+6%	2,013	2,025	+1%
販売費・一般管理費/純営業収益	90%	73%	69%	-4pt	86%	76%	-10pt

前四半期比

- ◇ 取引関係費 (前四半期比+14億円、+18%)
 - ◇ 人件費 (前四半期比+15億円、+4%)
- 取引量や業績に連動する費用が増加

前年同期比

- ◇ 取引関係費 (前年同期比-55億円、-19%)
- 引き続き抑制的なコスト運営を進めた結果、旅費交通費・広告宣伝費が減少
- ◇ 人件費 (前年同期比+69億円、+7%)
- 業績に連動する費用が増加

連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況

(単位：億円)	20年3月末	20年12月末	前期末比増減
流動資産	119,532	112,585	-6,947
トレーディング商品	32,964	31,995	-968
有価証券担保貸付金	61,721	58,965	-2,755
その他	24,846	21,623	-3,222
固定資産	3,237	3,355	+118
有形固定資産	303	312	+8
無形固定資産	679	689	+10
投資等その他の資産	2,254	2,353	+99
資産合計	122,769	115,941	-6,828
流動負債	108,665	102,185	-6,479
トレーディング商品	26,877	25,046	-1,831
有価証券担保借入金	55,609	50,632	-4,976
短期借入金/CP	14,755	14,212	-542
その他	11,422	12,293	+870
固定負債・準備金	5,589	4,838	-750
負債合計	114,254	107,024	-7,230
純資産	8,514	8,916	+401
負債・純資産合計	122,769	115,941	-6,828

【SMBC日興証券単体】

(単位：億円)	20年3月末	20年12月末	前期末比増減
基本的項目	7,573	8,104	+530
補完的項目	374	410	+35
控除資産	2,032	2,661	+628
固定化されていない自己資本	5,915	5,853	-62
リスク相当額	1,921	1,960	+39
市場リスク	514	693	+178
取引先リスク	653	465	-187
基礎的リスク	752	801	+48
自己資本規制比率	308%	299%	-9pt

長期格付 (2021年1月27日現在) 【SMBC日興証券単体】

Moody's	S&P	R&I	JCR
A1 [安定的]	A [安定的]	AA- [安定的]	AA [安定的]

リーグテーブル

グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー(*1) 2020年度

順位	ブックランナー	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	野村	5,901	15.4%
2	SMBC日興	5,771	15.1%
3	大和	4,965	13.0%
4	三菱UFJモルガン・スタンレー	4,751	12.4%
5	みずほ	4,280	11.2%

新規公開株式引受(*2) 2020年度 【SMBC日興証券単体】

【案件数ベース】			【引受金額ベース】	
順位	主幹事	件数	順位	引受金額 金額 (億円)
1	野村	17	1	SMBC日興 596
2	みずほ	14	2	大和 524
3	大和	12	3	野村 489
3	SBI	12	4	みずほ 457
5	SMBC日興	11	5	SBI 326

円債総合-主幹事(*3) 2020年度 【SMBC日興証券単体】

順位	主幹事	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	みずほ	47,821	22.6%
2	SMBC日興	38,762	18.3%
3	野村	38,729	18.3%
4	三菱UFJモルガン・スタンレー	37,526	17.7%
5	大和	36,170	17.1%

ファイナンシャル・アドバイザー(*4) 2020年度

【案件数ベース】			【取引金額ベース】	
順位	アドバイザー	案件数	順位	アドバイザー 取引金額 (億円)
1	三井住友FG	78	1	モルガン・スタンレー 109,917
2	野村	70	2	野村 106,690
2	Deloitte	70	3	ゴールドマン・サックス 60,846
4	KPMG	58	4	Deloitte 58,785
5	みずほFG	51	8	三井住友FG 32,601

(*1) 出所: REFINITIVの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

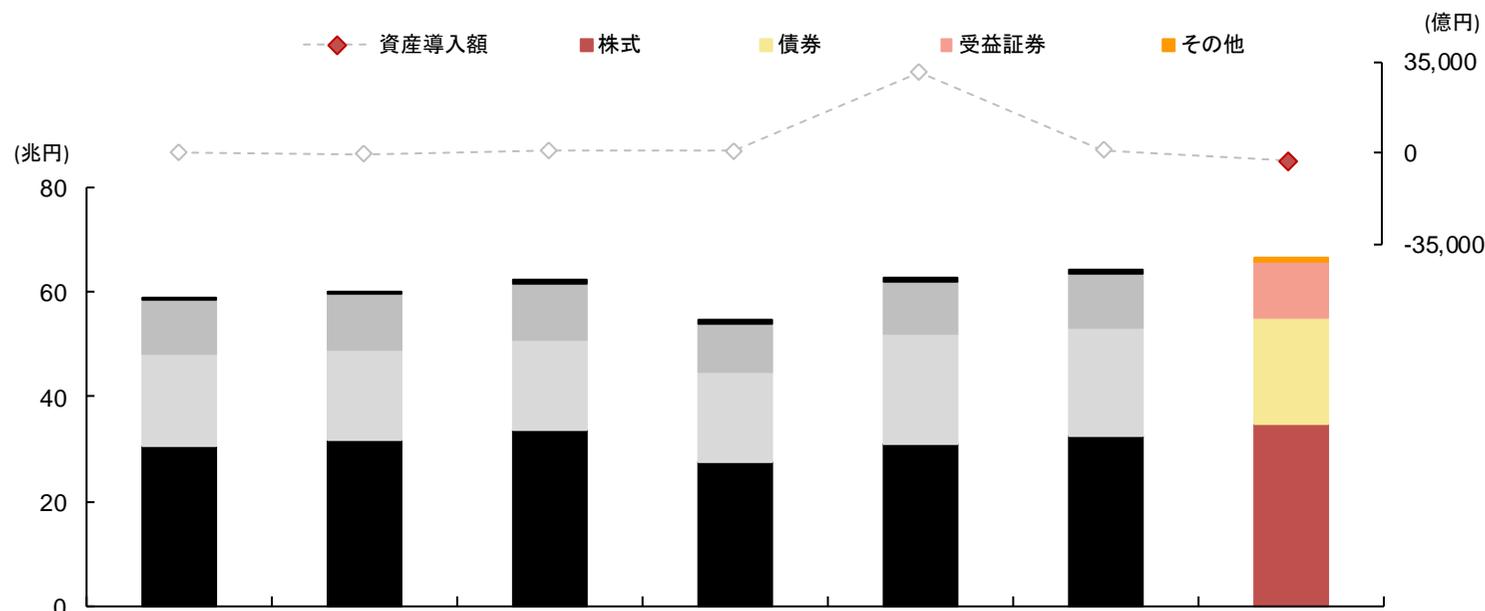
9 (*2) 出所: REFINITIVの情報を基に当社が作成(日本の取引所に上場した案件のみ、ジョイント主幹事を含む)

(*3) 出所: REFINITIVの情報を基に当社が作成(事業債、財投機関債、地方債[主幹事方式]、サムライ債)

(*4) 出所: REFINITIV 日本企業関連M&A公表案件

預り資産残高・資産導入額

【SMBC日興証券単体】



(単位: 兆円)

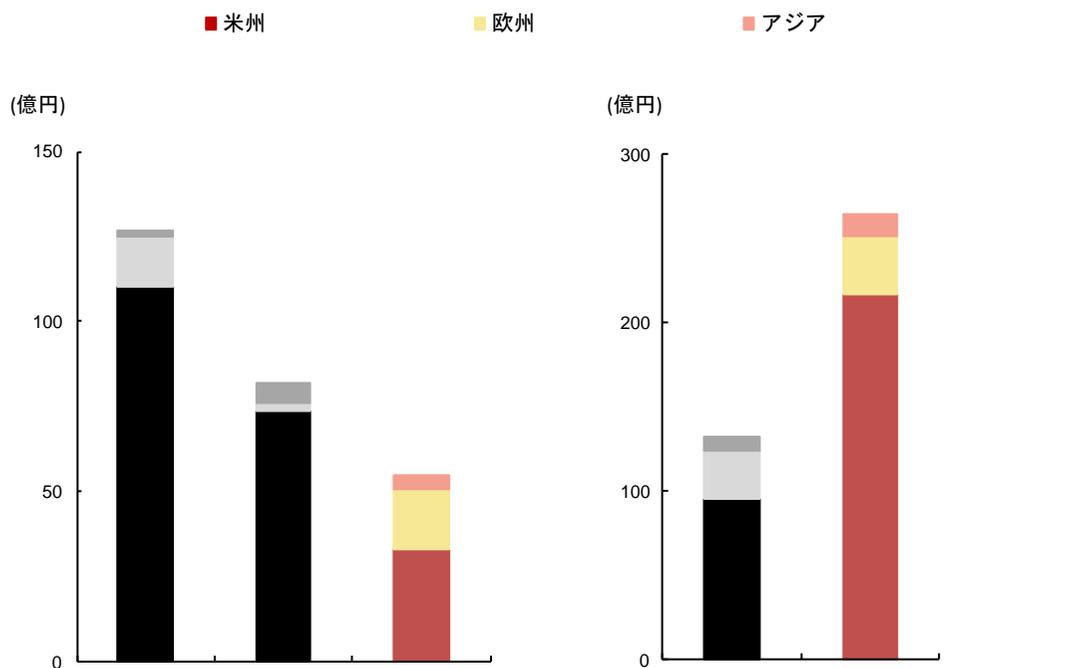
	20/3期 6月末	9月末	12月末	3月末	21/3期 6月末	9月末	12月末
株式	30.7	31.7	33.5	27.7	31.1	32.5	34.8
債券	17.5	17.5	17.3	17.0	21.0	20.7	20.4
受益証券	10.3	10.5	10.9	9.4	10.1	10.4	10.9
その他	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7
預り資産残高	59.0	60.1	62.3	54.8	62.8	64.2	66.7

(単位: 億円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
資産導入額(*)	216	-286	917	633	31,150	1,236	-3,060
入金入庫	12,228	14,606	12,442	17,243	42,382	13,550	13,621
出金出庫	-12,012	-14,892	-11,525	-16,609	-11,232	-12,314	-16,681

(*) 集計対象は公益法人を含む営業部門

海外拠点収支 (内部管理ベース)



(単位: 億円)	21/3期				前年同期比	20/3期		
	1Q	2Q	3Q	前四半期比		3Q累計	21/3期 3Q累計	前年同期比
米州	110	74	33	-55%	95	217	2.3倍	
欧州	15	2	18	8.3倍	29	35	+21%	
アジア	2	6	4	-40%	8	13	+67%	
海外拠点合計(*)	128	83	55	-33%	133	267	2.0倍	

前四半期比

◇ 海外拠点収支 (前四半期比-28億円、-33%)

米州において債券発行市場の落ち着きにより、前四半期比減少
一方、欧州を中心に、本邦企業によるグローバルオファリング大型案件が寄与し、エクイティビジネスが好調

前年同期比

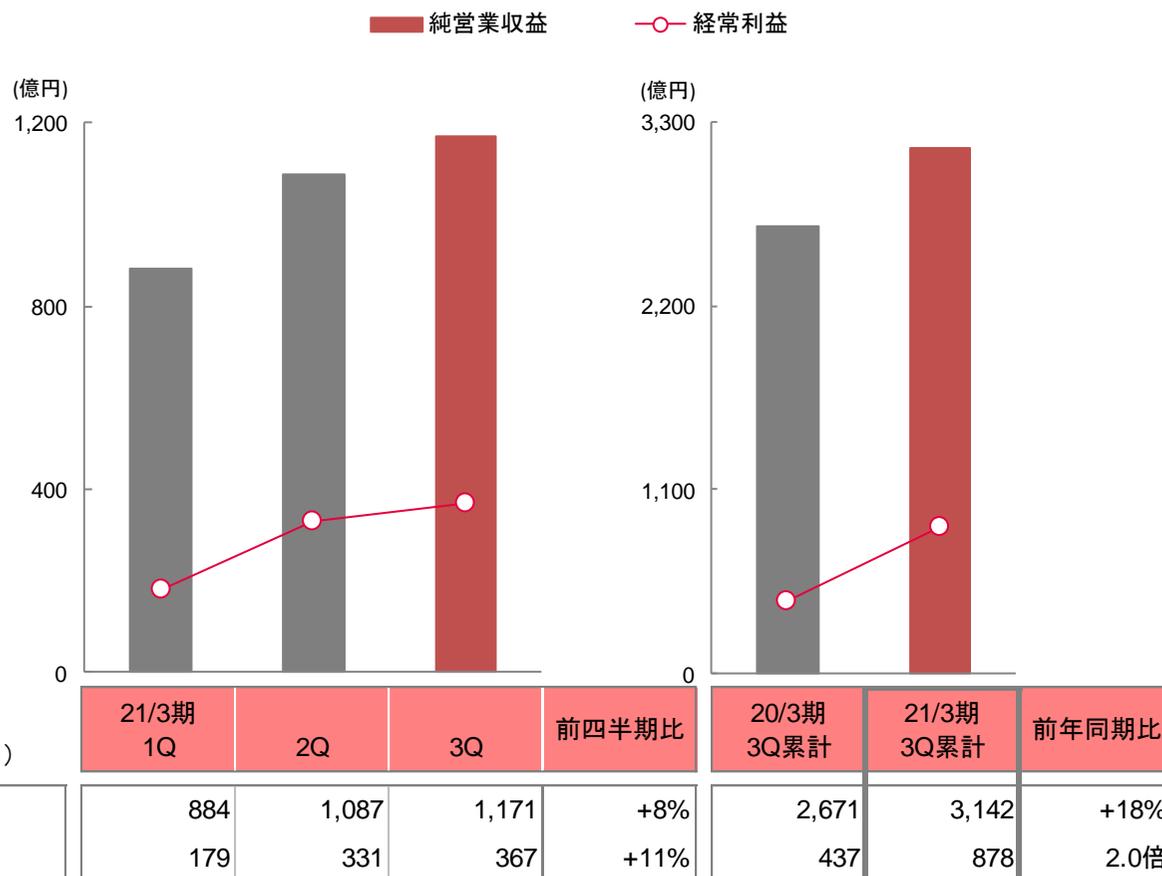
◇ 海外拠点収支 (前年同期比+134億円、2.0倍)

米州において、コロナ禍による発行体の資金調達ニーズを捉えたことや、FRB(連邦準備理事会)による市場安定策もあり、債券ビジネスはプライマリー・セカンダリーともに好調
また、エクイティビジネスにおいて、本邦企業によるグローバルオファリングの大型案件もあり、各地域の増収に寄与

(*) 海外拠点合計は、下記の合計値

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)、SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)、欧州SMBC日興キャピタル・マーケット、SMBC日興投資コンサルティング(上海)、SMBC日興ルクセンブルク銀行/SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニーの収支
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット(議決権比率:当社15.15%、三井住友銀行84.85%)のうち証券業務に係る収支及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ(議決権比率:当社20.00%、SMBCアメリカホールディングス(三井住友銀行子会社)80.00%)の収支

【ご参考】内部管理ベース (SMBC日興証券単体+海外拠点)



前四半期比

- ◇ 純営業収益 (前四半期比+84億円、+8%)
- ◇ 経常利益 (前四半期比+36億円、+11%)

前年同期比

- ◇ 純営業収益 (前年同期比+471億円、+18%)
- ◇ 経常利益 (前年同期比+441億円、2.0倍)

SMBCグループ一体でソリューション提案に取り組んだ結果、案件獲得に繋がり内部管理ベースの利益は大幅に増加

(*) 単純合算した計数(海外拠点からの受取配当金控除後)

海外ネットワーク

英国SMBC日興キャピタル・マーケット

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 株式・債券引受
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ
- スワップ関連業務

欧州SMBC日興キャピタル・マーケット

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 株式・債券引受
- IRアレンジ
- スワップ関連業務

英国SMBC日興キャピタル・マーケット(ADGM支店)

- 債券引受案件のための発行体カバレッジ

SMBC日興セキュリティーズ(香港)

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 債券引受案件のための発行体カバレッジ
- M&Aアドバイザー
- 中華圏進出コンサルティング
- IRアレンジ

SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- M&Aアドバイザー
- プライベートウェルス業務
- IRアレンジ

SMBC日興ルクセンブルク銀行

- ファンド・カストディ
- ファンド・アドミニストレーション

SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー

- ファンド管理

SMBC日興証券株式会社 北京駐在員事務所

- 中国当局、現地金融機関及び企業からの情報収集
- 中国のマーケットや規制動向に関する情報収集

日興証券インドネシア

- インドネシア株フローカレッジ
- 株式・債券引受
- M&Aアドバイザー
- インドネシア進出コンサルティング
- アセットマネジメント業務

SMBC日興セキュリティーズ(香港)(シドニーオフィス)

- 債券引受案件のための発行体カバレッジ

SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ(サンフランシスコ支店)

- 日本株セールス&トレーディング、米国株ブローカレッジ
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ

SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ

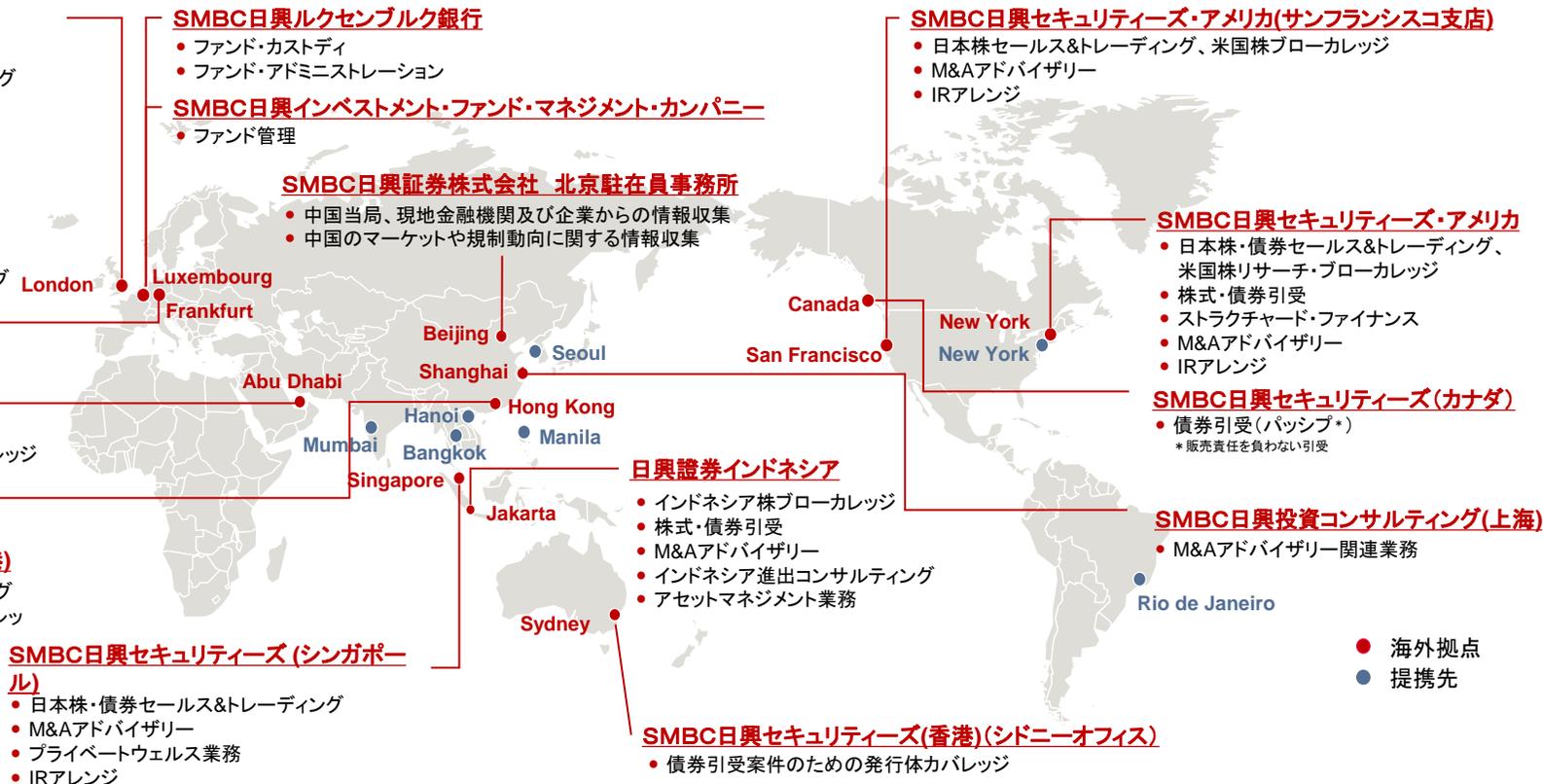
- 日本株・債券セールス&トレーディング、米国株リサーチ・ブローカレッジ
- 株式・債券引受
- ストラクチャード・ファイナンス
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ

SMBC日興セキュリティーズ(カナダ)

- 債券引受(パッシング*)

SMBC日興投資コンサルティング(上海)

- M&Aアドバイザー関連業務



- 海外拠点
- 提携先

提携先(アジア)

KB証券(本社:ソウル)

- M&Aアドバイザー業務、DCM業務及びIPO分野における業務提携

ファースト・メトロ証券(本社:マニラ)

- M&Aアドバイザー業務及びDCM業務を中心とした業務提携

ペトロベトナム証券(本社:ハノイ)

- 海外進出支援等を中心とした業務提携

ファトラ証券(本社:バンコク)

- M&Aアドバイザー及びDCM/ECM業務における提携

コタック・マヒンドラ・キャピタル(本社:ムンバイ)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

提携先(米州)

シティグループ(本社:ニューヨーク)

- 多様な分野でワールドワイドに業務協働

モーリス・アンド・カンパニー(本社:ニューヨーク)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

BTGパクチュアル(本社:リオデジャネイロ)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

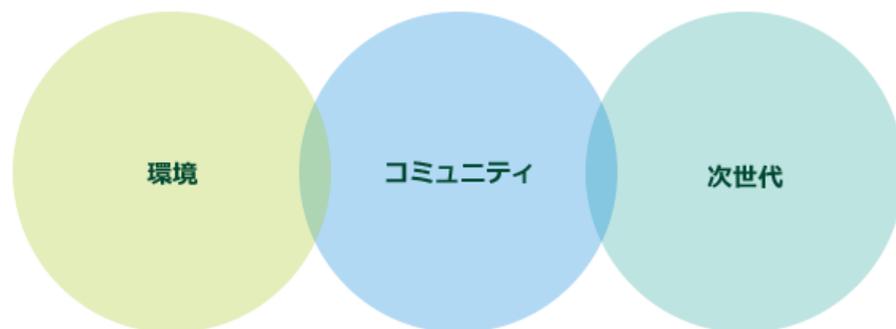
トピックス

SMBC日興証券は「経営理念」を基盤とし、「健全な資本市場の発展を、豊かな人生・社会の実現につなげる」ことを社会的使命として活動しています。2020年度よりスタートしている中期経営計画においても、「経営理念の実践を通じた社会課題の解決によるSDGs達成への貢献」を基本方針に組み込み、サステナビリティを推進しています

重点的に取り組む課題

ステークホルダーからの要請に応え、社会課題の解決に貢献していくために、「環境」「コミュニティ」「次世代」を重点課題に設定しています

サステナビリティの実現



目指す社会にとって、健全な環境は前提、
コミュニティは潤滑油でありセーフティネット、
そして次世代は社会をより良いものにし次の世代に渡す存在。

環境負荷軽減に向けた取り組み

環境保全を通じ、行動規範に掲げている「持続可能な社会への貢献」の実現、また業務効率化や「いつでも・どこでも」働く土台の整備に向け、全社一丸となり、ペーパーレスに取り組んでいます。なお、今年度の目標である紙使用量40%(2019年度比)について、現状目標を満たしています

サステナブルファイナンスの推進

当社では、「SDGsファイナンス室」を設置し、サステナブルファイナンスの推進に積極的に取り組んでいます。発行体に助言を行う主たる立場であるストラクチャリング・エージェント(SA)の件数でNo.1の実績をあげています

- ・ストラクチャリング・エージェント(SA) : 2020年度1位/18件
- ・リーグテーブル(LT):2020年度3位/3,418億円

グリーンエクイティ実績

発行体	概要/当社の関与
タカラレーベン・インフラ投資法人	本邦初のグリーン評価(格付)を取得した公募増資によるエクイティファイナンス案件。当社は事務主幹事
エネクス・インフラ投資法人	投資法人初となるグローバル・オフリングによるグリーンエクイティ案件。当社は単独グローバル・コーディネーター

プロボノワーク

社員が業務時間の一部を社会課題の解決に費やす「プロボノワーク」を、2020年3月より開始しています。国内の金融機関では珍しい取り組みとなる活動をコロナ禍でもリモートで推進し、対象社員や支援団体を拡大して活動を継続しています

*プロボノとはラテン語で「公共善のために」を意味する pro bono publicoの略で、社会人としてまたは業務上培った知識やスキルを無償提供する社会貢献活動です

参考資料

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



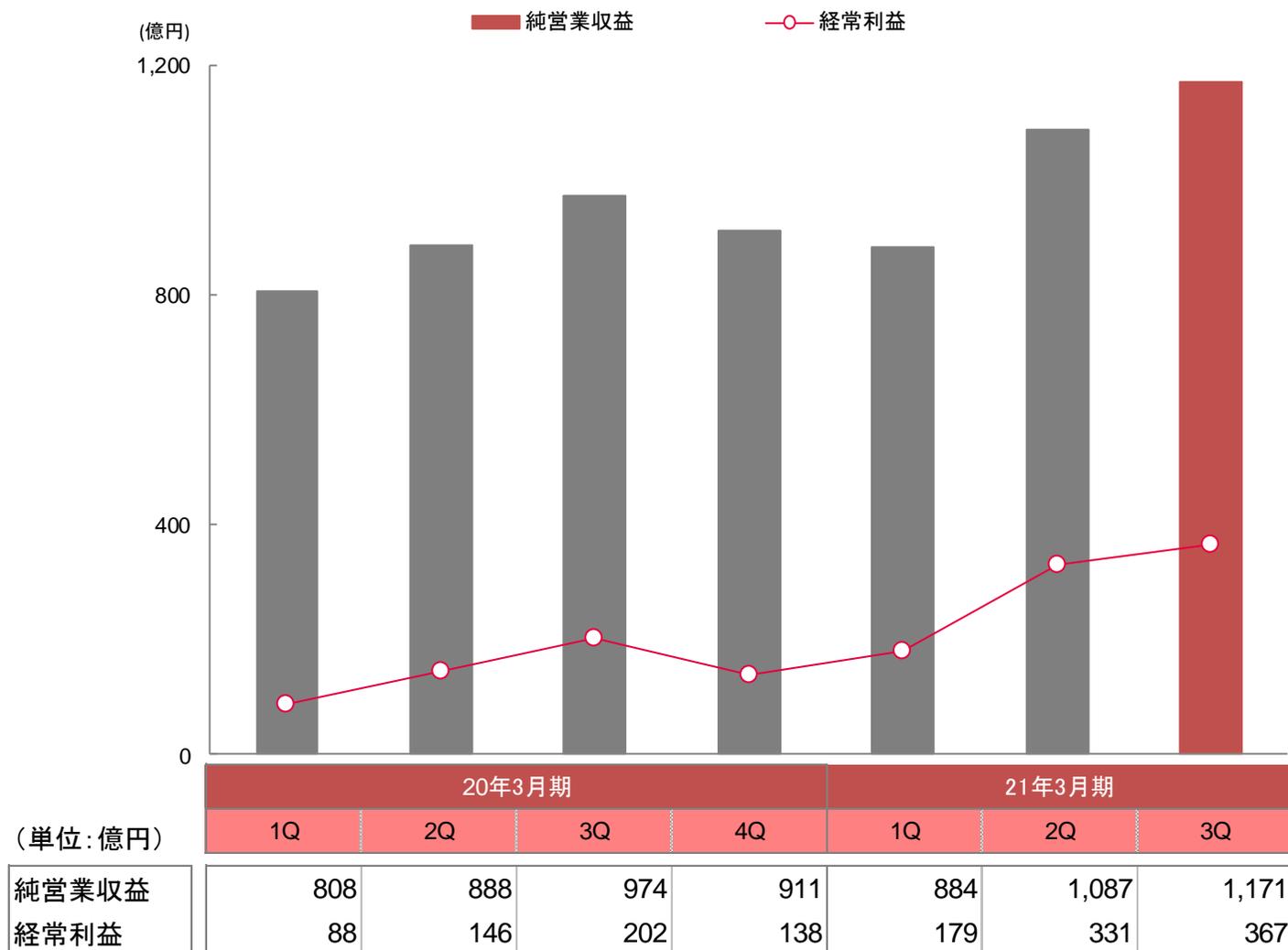
四半期損益推移 (連結)

(単位:百万円)	20年3月期				21年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業収益	92,780	96,480	108,757	100,731	95,718	109,963	130,785
受入手数料	45,619	51,282	56,115	51,898	40,679	57,616	66,579
委託手数料	7,859	8,495	10,042	11,923	11,854	11,850	13,842
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	8,821	11,870	12,479	7,695	4,394	13,137	14,060
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	9,157	11,073	13,650	12,119	7,549	13,944	15,459
その他の受入手数料	19,780	19,843	19,942	20,160	16,879	18,683	23,216
トレーディング損益	23,464	24,912	28,395	26,924	27,381	32,779	37,068
株券等	5,031	5,285	11,464	10,109	13,343	17,670	20,192
債券等・その他	18,433	19,626	16,930	16,815	14,038	15,108	16,876
金融収益	21,199	18,085	22,511	20,083	25,672	17,750	25,263
売上高	2,497	2,200	1,735	1,825	1,985	1,817	1,873
金融費用	20,255	16,263	21,428	17,469	24,434	14,817	24,779
売上原価	1,843	2,432	1,477	1,550	1,858	1,683	1,778
純営業収益	70,681	77,784	85,850	81,711	69,425	93,462	104,227
販売費・一般管理費	65,344	66,429	69,624	71,624	62,457	68,045	72,045
営業利益	5,336	11,354	16,226	10,087	6,968	25,416	32,181
経常利益	6,469	13,019	17,127	13,232	7,542	28,368	32,717
特別損益	-321	1,181	-129	-118	1,659	129	7,463
税金等調整前当期純利益	6,148	14,200	16,998	13,113	9,202	28,498	40,180
法人税等	1,058	2,828	5,816	1,507	2,663	6,791	12,888
当期純利益	5,089	11,371	11,181	11,606	6,538	21,706	27,292
親会社株主に帰属する当期純利益	5,094	11,363	11,195	11,629	6,472	21,744	27,293

四半期損益推移 (SMBC日興証券)

(単位:百万円)	20年3月期				21年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業収益	87,482	91,164	103,339	96,031	90,175	104,874	125,407
受入手数料	43,170	48,493	52,729	49,306	37,357	54,422	63,185
委託手数料	7,168	7,754	9,316	11,449	11,179	11,197	13,249
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	8,488	11,432	11,714	7,338	3,467	12,689	13,257
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	9,129	11,056	13,618	12,076	7,467	13,355	15,133
その他の受入手数料	18,384	18,249	18,080	18,442	15,242	17,179	21,544
トレーディング損益	23,464	24,912	28,395	26,867	27,227	32,747	36,986
株券等	5,031	5,285	11,464	10,052	13,188	17,638	20,110
債券等・その他	18,433	19,626	16,930	16,815	14,038	15,108	16,876
金融収益	20,847	17,759	22,214	19,857	25,590	17,705	25,235
金融費用	20,000	16,066	21,284	17,340	24,401	14,779	24,750
純営業収益	67,482	75,097	82,054	78,691	65,773	90,095	100,656
販売費・一般管理費	63,653	65,423	66,869	68,372	60,508	66,156	69,372
営業利益	3,828	9,673	15,185	10,319	5,265	23,938	31,284
経常利益	4,757	10,663	15,357	11,842	5,674	24,844	31,188
特別損益	-240	296	-244	-540	8,504	138	7,362
税引前当期純利益	4,516	10,959	15,113	11,302	14,178	24,983	38,551
法人税等	568	2,269	5,388	1,497	2,345	6,315	12,544
当期純利益	3,947	8,689	9,725	9,804	11,833	18,667	26,007

四半期損益推移 (内部管理ベース*)



(*) SMBC日興証券単体と海外拠点を合算

営業指標-1

【SMBC日興証券単体】

◇主要商品販売額 (単位:億円)	20年3月期				21年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
投資信託	5,339	6,893	6,824	7,190	4,604	6,930	7,944
(株式投資信託)	(3,774)	(4,841)	(4,946)	(4,989)	(3,373)	(5,248)	(6,424)
(外国籍投資信託)	(1,158)	(1,608)	(1,514)	(2,178)	(908)	(1,445)	(1,277)
ファンドラップ	694	614	936	587	262	431	779
外債(*1)	6,725	4,775	6,454	6,031	4,241	4,877	5,729
(外貨建て債券)	(2,227)	(2,283)	(1,790)	(2,008)	(1,124)	(1,688)	(1,794)
国内債	11,052	16,520	13,773	10,081	8,870	15,492	22,501
(個人向け国債)	(1,759)	(2,894)	(2,716)	(3,248)	(17)	(710)	(1,656)
株式募集	666	924	1,164	734	4	2,123	1,647
年金・保険商品	396	307	299	183	61	152	225
主要商品販売額合計	24,871	30,034	29,451	24,807	18,041	30,005	38,824

(*1) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む。

◇マーケットシェア	20年3月期				21年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
株券引受 グローバル株式 (*2)	10.7%	15.4%	18.4%	19.8%	2.6%	14.5%	15.1%
債券引受 円債総合 (*3)	18.7%	19.3%	18.8%	18.8%	14.4%	18.0%	18.3%
M&A 日本企業関連 (*4)	11.2%	17.9%	14.8%	8.4%	8.2%	15.6%	14.6%

(*2) グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー 出所：REFINITIVの情報を基に当社が作成

(*3) 円債総合・主幹事 出所：REFINITIVの情報を基に当社が作成

(*4) 日本企業関連M&A公表案件(取引金額シェア) 出所：REFINITIV

◇ダイレクトチャネル比率(*1)

	20年3月期				21年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
約定件数ベース	94.3%	94.2%	93.0%	95.0%	94.6%	94.4%	94.2%
(日興イーリートレード)	(91.3%)	(91.5%)	(89.9%)	(92.1%)	(92.3%)	(92.6%)	(91.9%)
手数料ベース	26.3%	24.1%	23.2%	25.0%	18.5%	13.4%	17.0%
(日興イーリートレード)	(16.1%)	(15.2%)	(14.8%)	(16.0%)	(13.0%)	(9.1%)	(11.3%)

(*1) SMBC日興証券における個人のお客様からの株式・CB取引(委託売買、募集)に占める対面以外の比率。

(*2) 第2四半期において20年3月期1Qから21年3月期1Qを遡及修正

◇売買代金・手数料率(*3)

(単位:億円)	20年3月期				21年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
株式委託売買代金	81,191	84,696	98,659	106,202	102,303	96,158	117,002
株式委託手数料(*4)	72	77	95	109	108	113	132
単純平均委託手数料率	8.1bp	8.4bp	9.0bp	9.5bp	10.0bp	11.2bp	10.9bp

(*3) 株式委託売買代金・委託手数料率は現物および信用取引を集計対象としている。

(*4) 連結ベース

営業指標-3

◇口座数

【SMBC日興証券単体】

(単位:千口座)	20年3月期				21年3月期		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
総口座数	3,433	3,449	3,455	3,453	3,489	3,541	3,558
証券総合口座数	2,936	2,949	2,959	2,974	3,007	3,051	3,082
新規登録口座数	30	31	28	39	39	53	38

◇店舗数

【SMBC日興証券単体】

	20年3月期				21年3月期		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
国内店舗数	142	143	144	141	141	140	140

◇人員数

	20年3月期				21年3月期		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
人員数	12,119	11,917	11,742	11,484	11,833	11,804	11,712
海外拠点人員数	770	791	795	802	814	779	805

(*) 海外拠点人員数は、下記の合計人員数

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)、SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)、欧州SMBC日興キャピタル・マーケット、SMBC日興投資コンサルティング(上海)、SMBC日興ルクセンブルク銀行/SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニーの人員数
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケットのうち証券業務に係る人員数及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカの人員数

三井住友銀行との連携について

【SMBC日興証券単体】

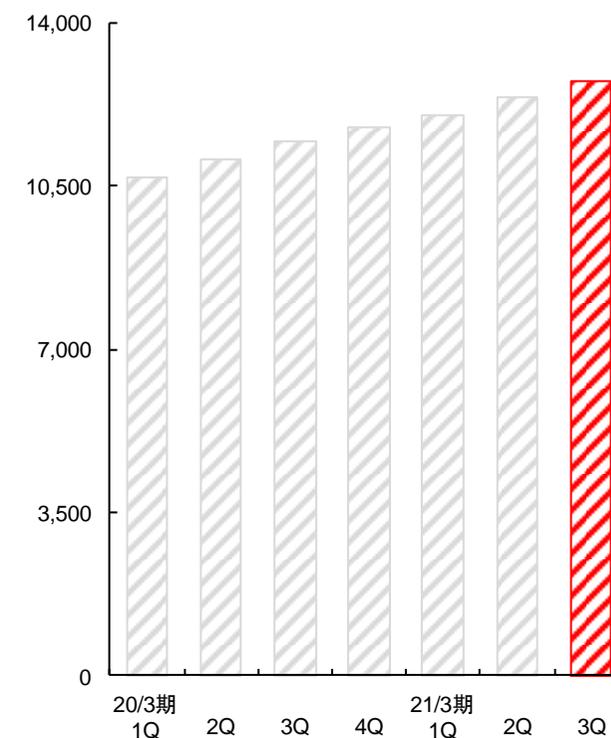
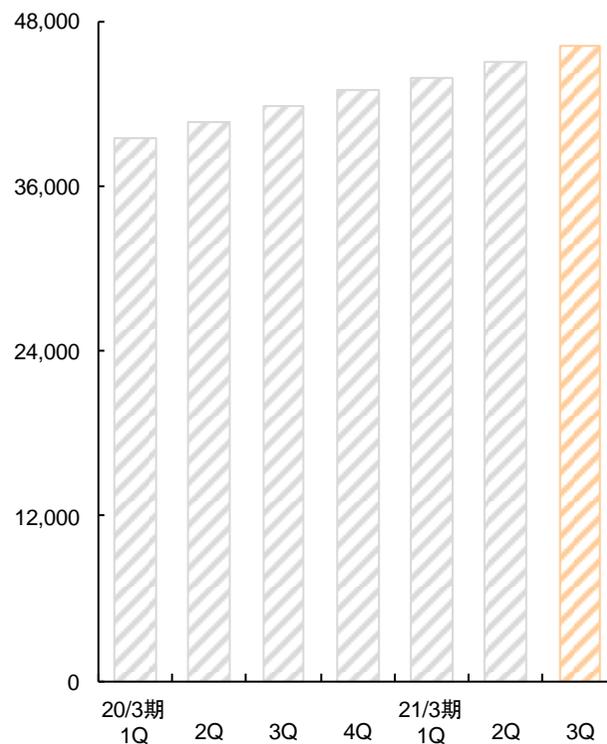
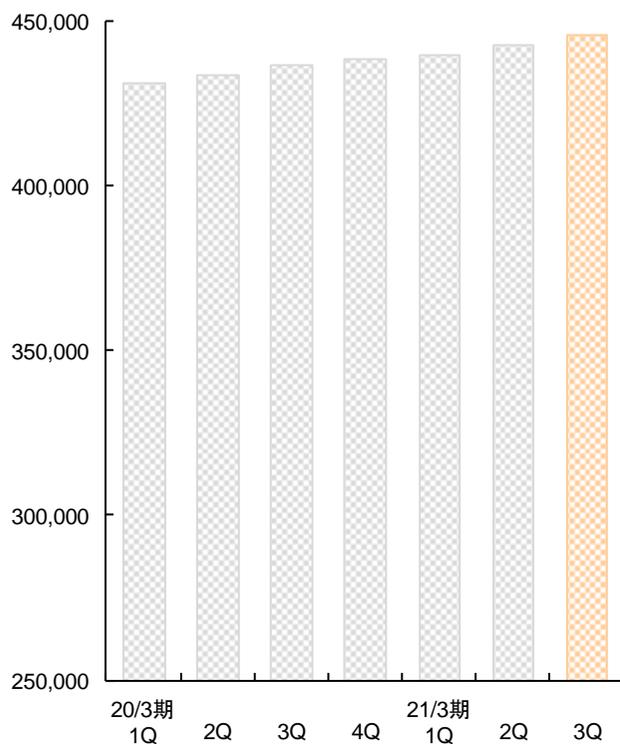
運用業務 (お客様紹介業務・金融商品仲介業務^(*))

投資銀行業務 (お客様紹介業務)

個人のお客様 (口座数) ^{(*)2}

法人のお客様 (累積件数) ^{(*)3}

法人のお客様 (累積件数)



注) 口座数の実績は各四半期末の口座数を表示。件数の実績は運用業務、投資銀行業務ともに累積の数値を表示

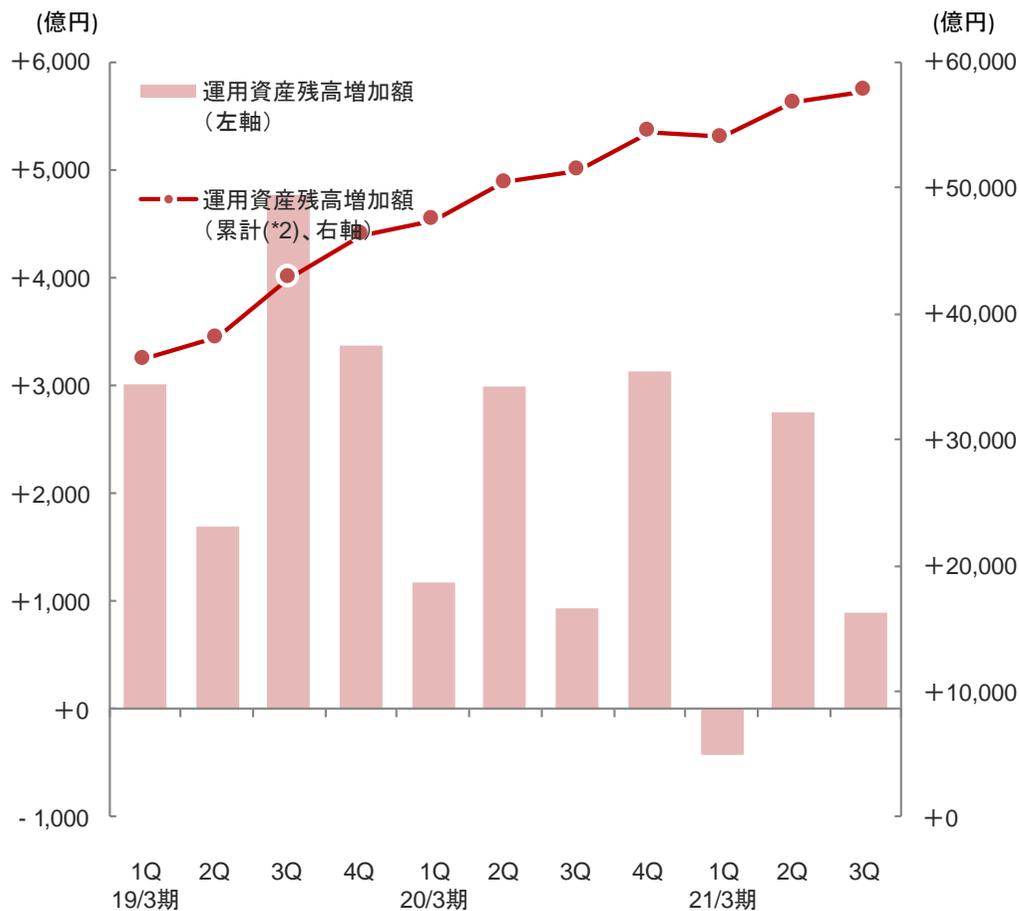
(*) 三井住友銀行(以下、「SMBC」)の金融商品仲介業務: 当社が金融商品仲介業務を委託したSMBCがお客様に対して証券取引の勧誘・媒介等を行う

22 (2) SMBCから当社に対して紹介された個人のお客様の口座数及びSMBCの金融商品仲介業務を通じて口座を開設された個人のお客様の各四半期末時点の口座数

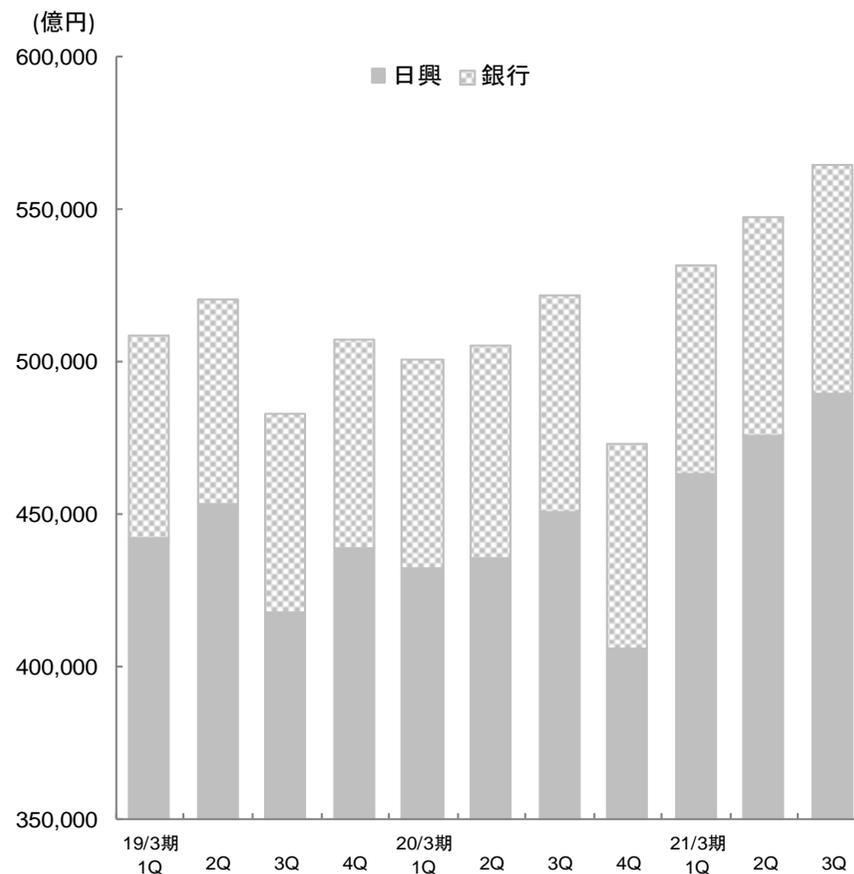
(3) SMBCから当社に対する法人のお客様の運用業務に係る紹介件数及びSMBCの金融商品仲介業務の件数を累積で表示

銀証合算のリテール運用資産残高について

リテール銀証運用資産残高増減額 (*1)



リテール銀証運用資産残高 (*3)



(*1) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(個人)の運用資産残高増減(資産導入額)の合計

(*2) 2014年3月期第1四半期からの累計値

(*3) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(公益法人等の一部法人を含む)の運用資産残高(預り資産)の合計

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券